



背番号

1

写真提供 新潟日報社

# 2人そろって 夢の舞台へ

## 甲子園へ出場

日本文理高校

伊藤直輝さん(上関)

若林尚希さん(下関)

高校球児はもとより、野球少年なら誰もがあこがれ、筋書きのないドラマが多く、野球ファンを感動させる高校野球の聖地・甲子園。その夢舞台でプレーしてきたのは、日本文理高校の伊藤直輝さん(上関)と若林尚希さん(下関)。三月二十一日から阪神甲子園球場で開幕した「第八十一回選抜高校野球大会」に出場した日本文理高校は、大会二日目の二十三日、第二試合で清峰(長崎県)と対戦。伊藤さんは打順五番ピッチャー、若林さんは打順七番キャッチャーとして先発出場しました。伊藤さんは先発で五回を投げ、強豪打線相手に被安打五、奪三振三、自責点二の力投。また、若林さんは、好投手から三打数二安打一犠打の好打を見せ、二人とも全国の舞台で大活躍しました。

試合は、序盤のチャンスを生かしきれなかった日本文理が〇対四で惜敗。しかし、その後、今大会優勝を遂げた清峰での二人の活躍は、村民に大きな感動と希望を与えてくれました。

1回戦 2009年3月23日 阪神甲子園球場

清 峰	0	2	0	1	0	0	0	1	0	4
日本文理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(清) 今村 本壘打 二壘打  
(日) 伊藤、本間、松田・若林 今村(清) 橋本(清)、武石(日)、高橋隼(日)、今村(清) 若林(日)

写真提供 新潟日報社



背番号

2

### 大変ありがとうございました

甲子園応援協力寄付金に際し、ご理解ご協力ありがとうございました。皆様方からの高配を賜り、無事ツアーに送り出すことが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

関川村スポーツ少年団  
本部長 船山 勝 雄  
甲子園応援事務局  
代表 渡 辺 辰 也



大勢の子どもたちが応援に

### 大勢の村民が応援に...

甲子園応援ツアーでは、スポーツ少年団団員や村民など約80人が二人の応援に駆け付けました。しかし、予定されていた22日の試合が残念ながら雨で順延に...。球場での応援はかなわなかったものの、村民の大声援はきっと二人の心に届いたことと思います。